

NPO 法人 ころこ・あんしん Light〔こあら〕 講演会

# 「自己肯定感を高めよう」

～児童・思春期・青年期

ころこの不調をかかえる子どもへのかかわり方～

講師 大久保 圭策 先生

(精神科医 大久保クリニック院長)

日時：2017(平成29)年2月5日(日) 13:30～15:45

13:30	開会	
	主催者挨拶	
13:35	～ 15:05	講演
	<休憩>	
15:15	～ 15:40	質疑応答
15:45	終了	



場所：さらら仁川 公益施設 多目的ホール（さらら仁川 北館3F）

〒665-0061 宝塚市仁川北2丁目5番1号（阪急今津線「仁川」駅前）

- 対象 ころこの不調や病気をかかえる子どもの家族、支える立場の方、一般
- 申し込み 不要
- 参加費（資料代） 200円（こあら会員は無料）

主催：特定非営利活動法人 ころこ・あんしん Light〔こあら〕

後援：宝塚市・宝塚市教育委員会・宝塚市社会福祉協議会

## 講師紹介

大久保 圭策 先生 1985年奈良県立医大卒 精神科医 大久保クリニック院長  
専門は、思春期精神医学、臨床精神医学。

### 著書／論文：

『ドラッグ問題をどう教えるか』宝田穂、大久保圭策監修、解放出版社

『発達障害と排除型社会—大阪地裁における発達障害者への差別判決について考える』  
部落解放 2012

『若者世代の内憂外患（特集 脱法ドラッグ最前線）』部落解放 2014

『薬にまつわるエトセトラ』統合失調症のひろば春号 2014 ほか

不登校、ひきこもり、昼夜逆転、ゲームばかり、過食・拒食、キレて暴れる、リストカット、非行…  
etc.

いま、生きづらさやこころの不調、病気をかかえ、自己否定的な思いの強い子どもや若者が増えていると言われます。

学校や仕事に行かず、一見わがまま勝手、甘えているなどと思われがちな子どもたち。

「将来自立できないのでは」と周囲は心配になりますが、否定的な眼差しばかりを向けられると彼らは自己否定的になります。叱る—叱られるを繰り返すうちに関係が陰悪になり、かえってよいに心配な状態になったりすることもある。

うまく表現できないつらさやモヤモヤをかかえ、「自分が自分であって大丈夫」と思えない彼らを、周囲の大人はどのように理解すればよいのでしょうか。

家庭や学校、地域や職場で、彼らにどのように接し、受け入れていけばよいのでしょうか。

かかわり方の難しい問題をかかえる子ども・若者について、“こころの健康”の視点からの理解と支援を考えます。彼らの自己肯定感を取り戻し、高めるために、家族や周囲の大人が留意したいかかわり方や必要なケア、支援を学びましょう。

子ども・若者の現在と将来の幸せ(=福祉)のために、一緒に考えましょう。

(\*^ ^ ^\*)...:\*♡\*♡\*... (\*^ ^ ^\*)

特定非営利活動法人こころ・あんしん Light [こあら]

…こころの不調・病気をかかえる子どもの家族と支援者の会…

家族同士の支え合い、電話・メール相談、学校・地域への啓発、支援ネットワークづくり、思春期精神保健福祉の教材づくりと生徒向け授業、教員・支援者向け研修等を行っています。

問合せ・連絡先 〒661-0953 尼崎市東園田町4丁目101-3 エアー企画 気付

TEL 080-5716-2982

E-mail ansin-light@ezweb.ne.jp (携帯)

ansin.light.koala@gmail.com (PC)